

提出書類の記載要領

■共通事項

1. 記載例を参考に印字で作成してください。
※様式 1_履歴書の自署記載箇所及び様式 8_推薦書の推薦者署名を除く。
2. A4 判でプリントアウトしたものを提出してください。様式 1～7 については、原稿ファイルを電子媒体（CD-R、USB メモリ等）に保存のうえ、併せて提出してください。
※様式 1 は自署以外の部分を入力したデータを提出してください。
3. 提出書類等は、選考及び採用手続きの目的のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。なお、提出書類等は返却いたしませんので、ご了承ください。
4. 提出書類等の記載内容について、推薦者に確認させていただく場合があります。

■履歴書（様式 1）

1. 旧氏名は、必要に応じ旧姓等を記載してください。
2. 年齢は、記入日現在の年度末年齢を記載してください。
3. 学歴は、高等学校卒業以降の学歴を年月の古い順に記載してください。なお、在学中に休学した歴がある場合は、学校等名称の下段に休学期間を記入してください。
4. 免許・資格は、国家試験による免許・資格、学会認定の認定医・専門医の資格等を記載してください。
5. 職歴は、すべての職歴（所属・職名）及び研究歴（所属・身分）を年月の古い順に記載してください。なお、在職中に育児休業や介護休業等を取得した場合は、所属組織名称の下段に休業期間を記入してください。
6. 学会及び社会における活動歴は、本人の専攻・研究分野に関連した事項、社会活動の事項及びその時期を記載してください。
7. 賞罰・処分歴等（大学在学中を含む）は、学会賞等を記載してください。ない場合は、「なし」としてください。過去に学生に対するセクシュアルハラスメント等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。また、学生時代に受けている場合もその内容について記載してください。
8. 行が不足する場合は、適宜追加してください。

■業績目録（様式 2）

1. 業績目録は、次のように分類し、記載例を参考に記載してください。
 - I. 原著 (様式 2 - 1)
 - II. 症例報告 (様式 2 - 2)
 - III. 総説 (様式 2 - 3)
 - IV. 著書 (様式 2 - 4)
 - V. 学会発表 (様式 2 - 5)
 - VI. その他 (様式 2 - 6)

VII. 業績等の Impact factor 集計表 (様式 2 - 7)

VIII. 研究助成一覧 (科学研究費) (様式 2 - 8)

研究助成一覧 (科学研究費を除く公的助成金)

研究助成一覧 (民間助成金)

IX. 自薦論文要旨 (様式 2 - 9)

2. **欧文、和文の別に発表年（発行年）の古い順に記載し、様式毎に通し番号**を付してください。なお、表題は省略せず記載してください。

3. 共著の場合は、著者全員の氏名を論文と同じ順に記載し、**本人の氏名に下線**を付してください。

4. 欧文原著では、corresponding author の氏名に＊を付してください。

5. 著書順は、「first author」、「second author」、「その他」に分類し、「F」、「S」、「他」と記載してください。「corresponding author」の場合は、「C」を併記してください。

IF は、Clarivate Analytics 社「Journal Citation Reports」による **2023 年版**のインパクトファクターを記載してください。

例) 「F 10.053」、「FC 6.284」、「他 C 4.457」など

6. 応募者自身の学位論文は、番号の前に○を付してください。

7. 投稿中の論文については、すでに受理されて印刷中のもののみ記載してください。その際、受理証明書（写）を添付してください。

8. I 原著～VI その他の業績の取り扱いは、以下によってください。

I 原著：独創的な実験、観察などについて最初に印刷公表したものであって、緒言、方法、結果、考案、総括などの形式をとり、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの（和文で既発表のものを英文等で発表したときは、その対応関係を注）で明らかにしてください

II 症例報告：入院や外来での実際の経験症例を取り上げて、病歴、身体診察所見、主な血液ないし画像検査所見に基づいて、診断、治療、予後、患者教育などについて記載したもので、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの

III 総説：特定の分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評したもので、レフリー制度の確立された学術誌に掲載されたもの

IV 著書：分担執筆を含む

V 学会発表：国内の学会（全国規模のものに限る）及び国際学会における特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ（国際学会については、一般演題を含む）

VI その他：上記以外の業績（特に重要なものに限る）や特許の申請・取得状況、共同研究（共同研究契約を自身の名義で締結しているもの）、治験の実績等

9. VIII 研究助成一覧の取り扱いは、以下によってください。

科学研究費：文部科学省及び日本学術振興会が行う科学研究費補助金及び学術研究助成基金助成金及び厚生労働科学研究費補助金等

科学研究費を除く公的助成金：上記以外の国、地方公共団体または独立行政法人等から配分される競争的研究費

民間助成金：民間の財団法人や学会等が、公益活動の一環として、研究活動等に対して助成を行う競争的研究費（企業からの奨学寄附金を除く）

10. IX 自薦論文要旨については、提出する論文 10 編別刷について記載してください。Citation（最新被引用回数）を記載する際は、Citation の検索に使用した二次情報データベース名（Scopus, Web of Science など）についても記載してください。

■教育に関する実績（様式 3）

様式 3-1 について、高等教育機関（学部、大学院）での医学教育について、担当した講義、実習等（学部、大学院）の内容や大学院生への学位論文指導を含めて、これまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

様式 3-2「学部・大学院教育に関する実績」について、これまで学部および大学院で担当した専門科目合計時間数が最も多い年度について記載してください。

様式 3-3「博士論文指導に関する実績」について、これまで直接学位の指導を行った博士課程の学生について、記載してください。欄が不足する場合は適宜追加ください。

■研究に関する実績（様式 4）

学術研究について、当該研究を通じて実現した成果、競争的研究費等を含めて、自身のこれまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

■診療実務に関する実績（様式 5）

診療実務について、初期研修医や若手の医師等への指導も含めて、自身のこれまでの実績を 2,000 字以内で記載してください。

■講座担当に当たっての抱負（様式 6）

講座を主宰するに当たって、当該講座の教育、研究、診療及び管理・運営についての将来展望や抱負を具体的に 2,000 字以内で記載してください。

■過去 3 年間のハイリスク妊娠・分娩取扱及び手術実績リスト（様式 7）

様式 7-1 について、最近 3 年間(2022 年 2 月 1 日～2025 年 1 月 31 日)のハイリスク妊娠・分娩取扱実績リストの全例について、出産年月が古い順に通し番号を付して記載してください。記載の実績は原則妊娠管理及び分娩管理を行った症例、または救急搬送により分娩または産褥管理を行った症例とし、特に、産後危機的出血等、母体救命に関連する症例（手術・処置等の対応）についても記載してください。

様式 7-2 について、最近 3 年間(2022 年 2 月 1 日～2025 年 1 月 31 日)の手術症例（術死及び再手術例を含む）の全例について、NCD の症例登録順に通し番号を付して記載してください。様式のリストのうち主要な 10 例については、通し番号の前に○を付し、手術記

録の写し（1例につき11部）を併せて提出してください。なお、手術記録の写しに個人が特定できる情報（氏名、ID等）について、記載がある場合は、黒塗り等の加工を行い、提出してください。

各様式の手術における役割の取り扱いは、以下によってください。

術者：その手術において、主体的に手術を行う者

指導的助手：その手術において、自身の知識、経験をもとに術者を指導しながら手術を行う者

助手：その手術において、術者のサポートを行う者

■推薦書（様式8）

推薦書は必ず複数名（2～3名）提出してください。併せて、推薦者ごとに「添書《推薦者用》」を記載いただけてください。なお、海外在住の外国の方を推薦者とする場合、様式内の署名・押印に代えてサインを記載いただき、PDFデータ等を印刷したものを提出しても差し支えありません。

ただし、添え書きに代わる推薦者の連絡先が分かるものも必ず同封してください。